

2022年11月 イーアイデム会員対象アンケート結果

TOPICS

株式会社アイデム
東日本事業本部 データリサーチチーム

調査名

- ▶【イーアイデム会員限定】お仕事探しに関するアンケート

調査目的

- ▶現在の求職者の状況を把握し、今後のサービス向上・商品開発につなげる

調査対象

- ▶総合求人サイト「イーアイデム」の会員で、2022/11/01～2022/11/30の期間にイーアイデムから何らかの求人に応募した人

調査期間

- ▶2022/11/02～2022/12/05（34日間）

調査方法

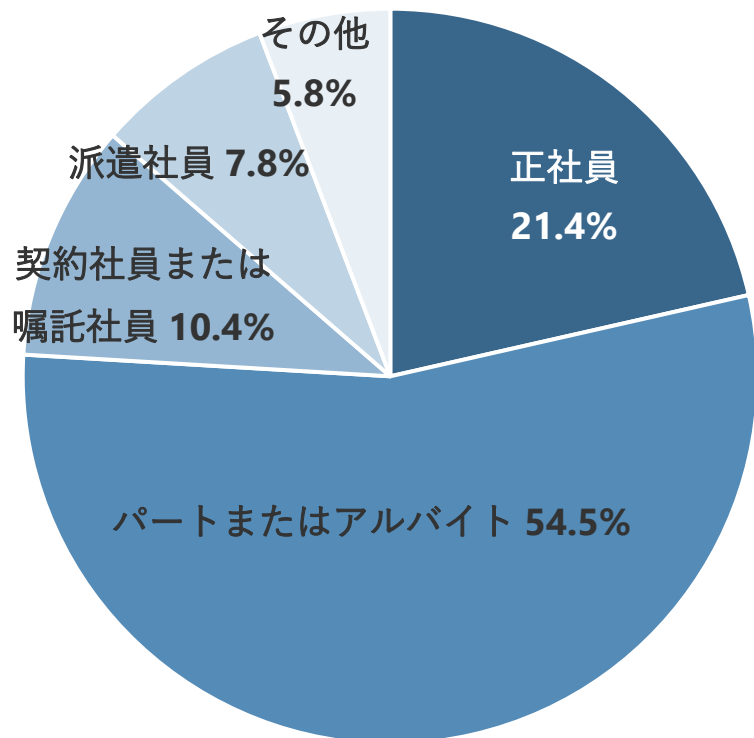
- ▶インターネットリサーチ

有効回答数

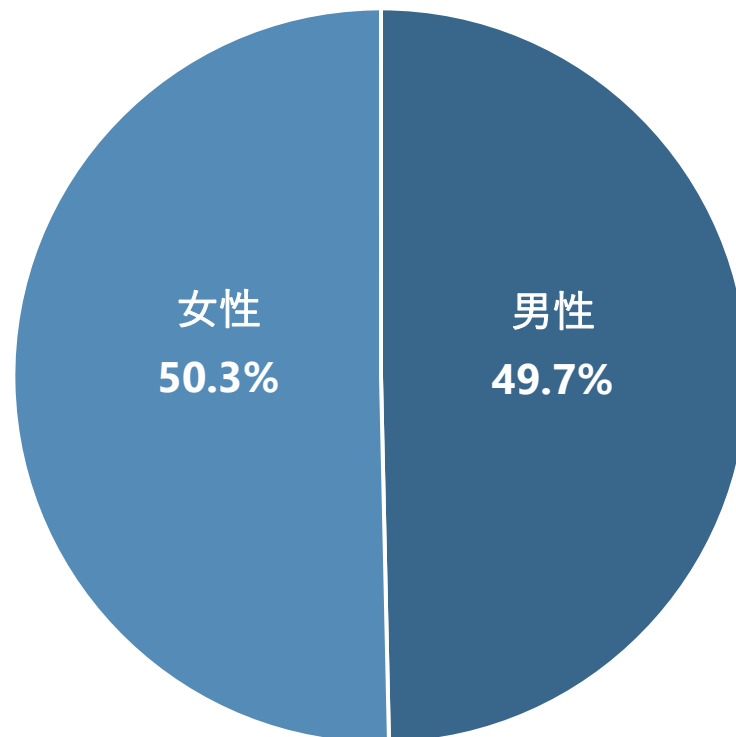
- ▶288件

※調査結果は四捨五入のために合計が100%にならない場合があります

希望する雇用形態



性別



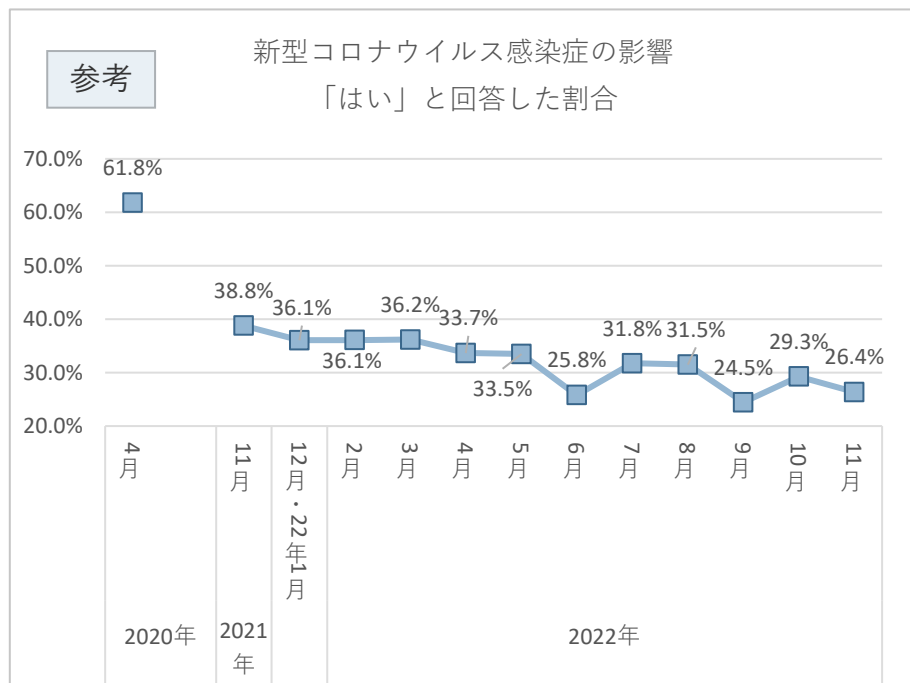
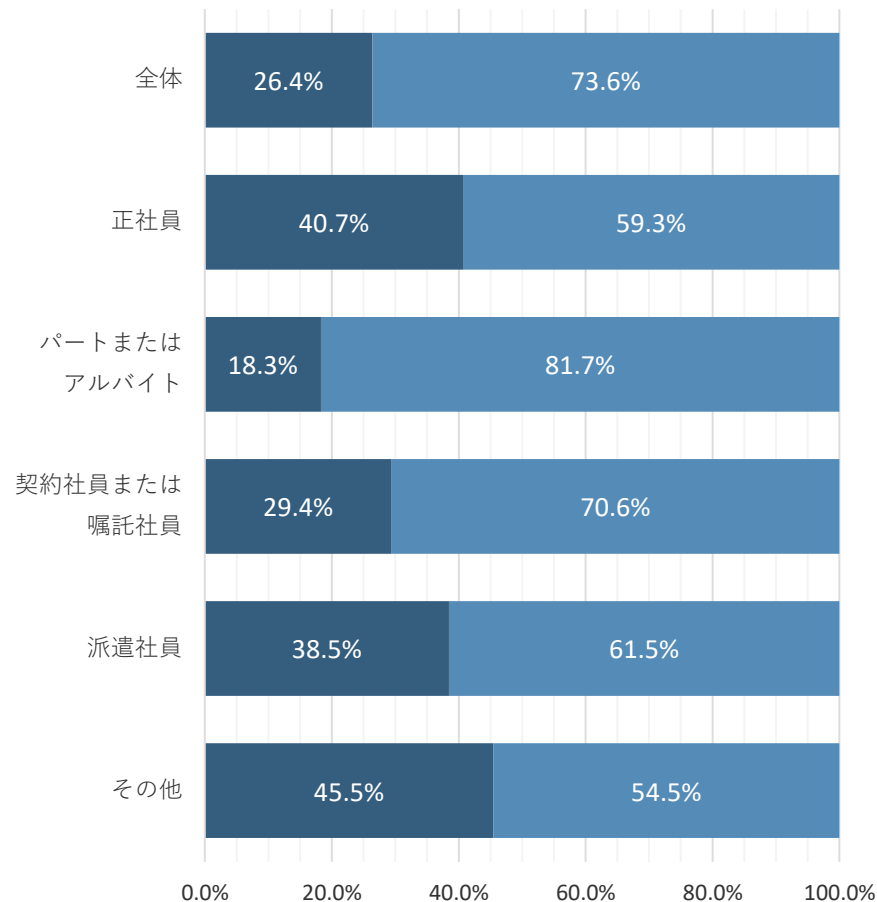
イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、今回仕事探しをしている理由に「新型コロナウイルス感染症の影響」は関連しているかきいた。

全体で26.4%が「はい」と回答し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて仕事探しをしていた割合は四分の一程度となった。

希望雇用形態別に影響の有無をみると、「正社員」では40.7%で、他の雇用形態希望者よりも高かった。

今回仕事探しをしている理由には、新型コロナウイルス感染症の影響は関連していますか。

■ はい ■ いいえ

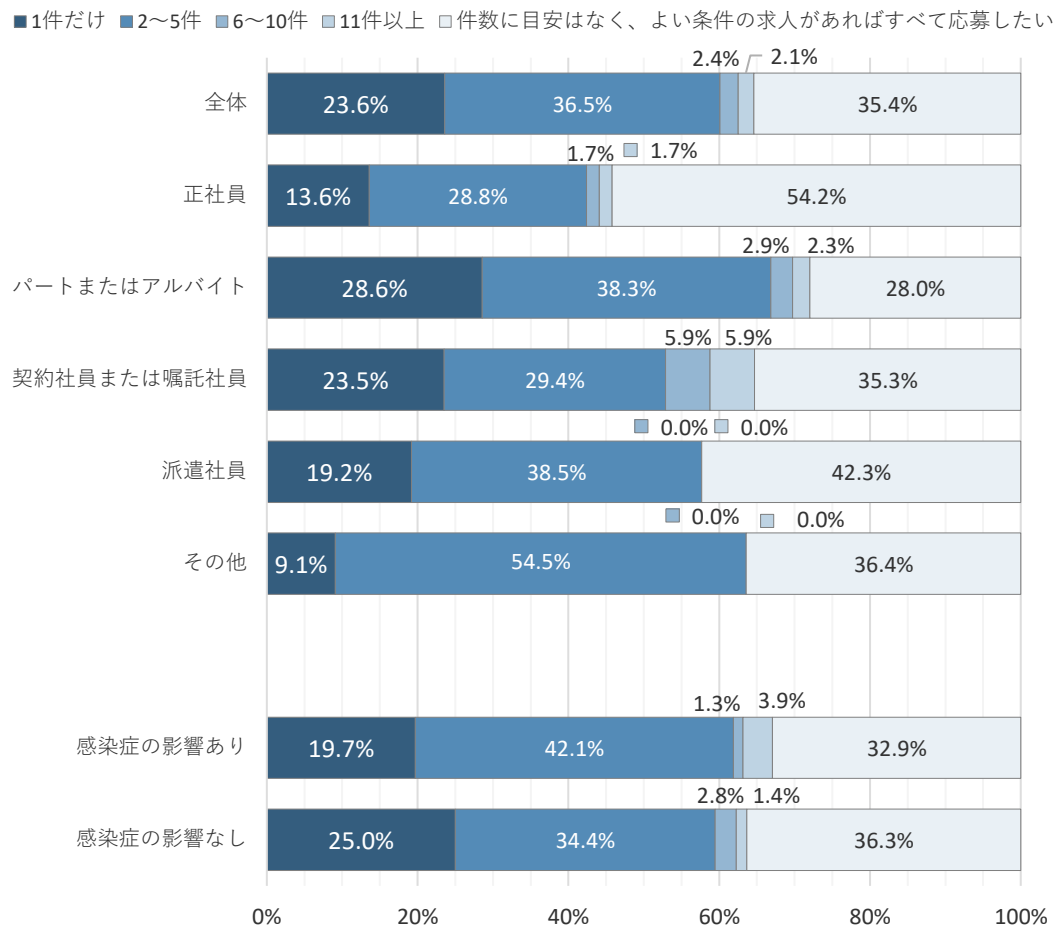


イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、今回の求職活動期間の中で、求人に応募する件数の目安があるかどうか聞いた。全体では、「2～5件」が最も多く36.5%、次いで「良い条件の求人があればすべて応募したい」が35.4%、「1件だけ」が23.6%、「6～10件」が2.4%、「11件以上」が2.1%となった。「1件だけ」以外を選んだ割合は全体の8割弱となった。

希望雇用形態別にみると、「正社員」では、「件数に目安はなく、よい条件の求人があればすべて応募したい」の割合は54.2%となった。「パートまたはアルバイト」では「2～5件」が38.3%、「1件だけ」が28.6%で、応募件数に目安を設けて活動している人が多い。

仕事探しにおける新型コロナウイルス感染症の影響の有無（P4参照）別にみると、「感染症の影響あり」の人では「2～5件」応募する意向の人が多かった（42.1%）。

今回の求職活動期間の中で、
およそ何件ほど応募しようと思いますか。

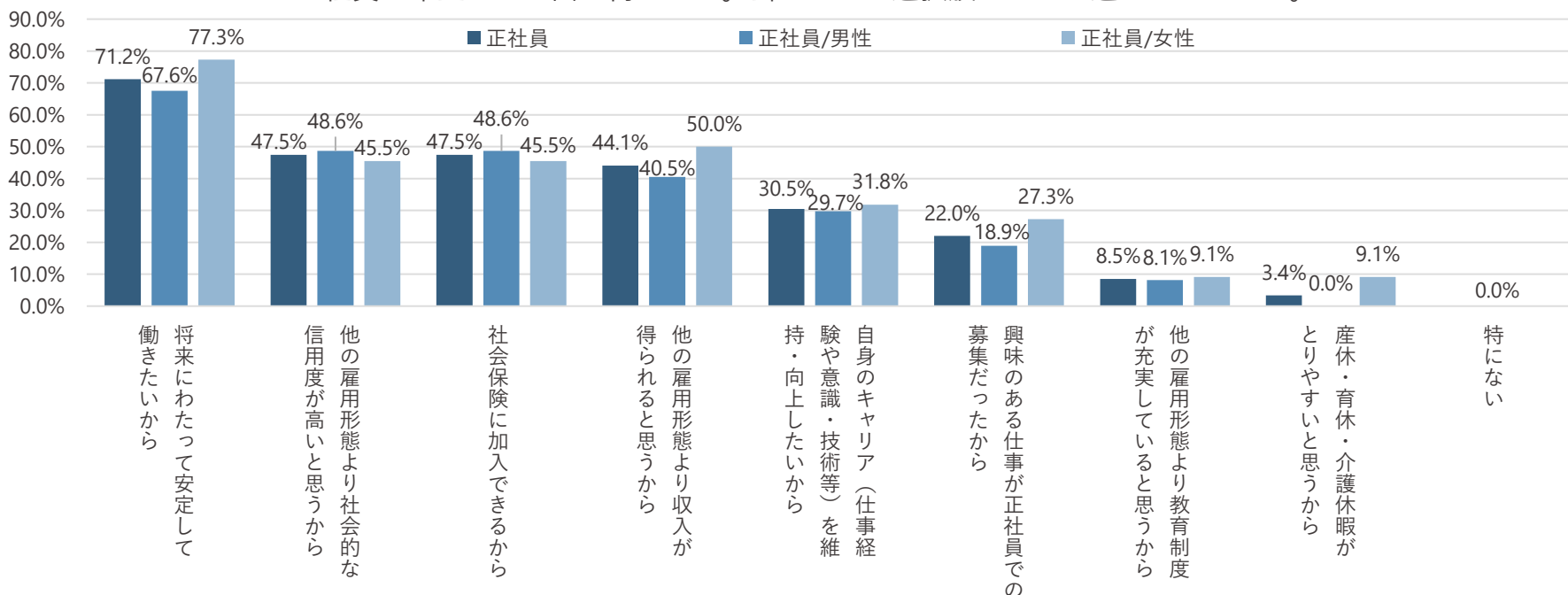


イーアイデムに掲載された求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、なぜ正社員を希望するのかを聞いた（複数回答）。最も多かったのは「将来にわたって安定して働きたいから」で71.2%、次いで「他の雇用形態より社会的な信用度が高いと思うから」と「社会保険に加入できるから」が47.5%となっている。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも5pt高くなった項目はなかった。「産休・育休・介護休暇が取りやすいと思うから」の項目は、男性では誰も選んでいなかった。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「将来にわたって安定して働きたいから」が9.7pt、「他の雇用形態より収入が得られると思うから」が9.5pt、「産休・育休・介護休暇が取りやすいと思うから」が9.1pt高くなった。収入や雇用の安定を理由に、正社員を選んでいる人が多いようだ。

正社員を希望する理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。

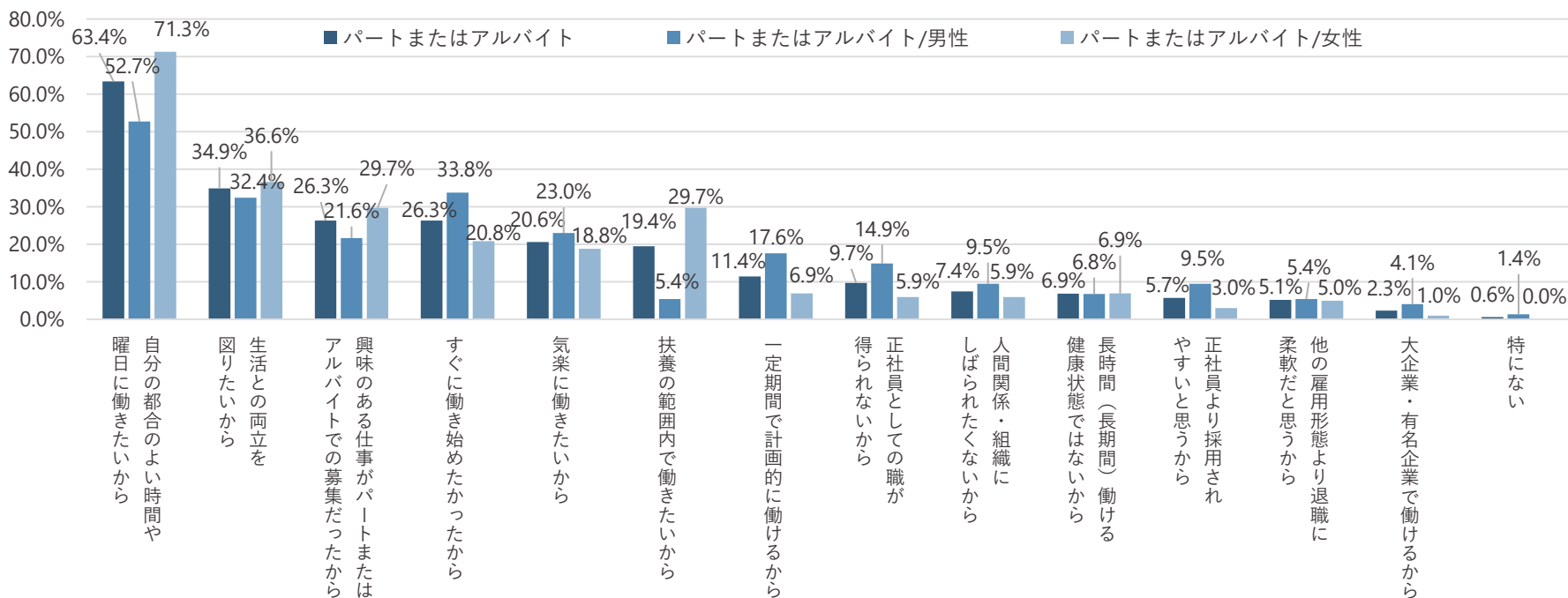


イーアイデムに掲載された求人に応募した、パートまたはアルバイトを希望する人に、なぜその雇用形態を希望するのかを聞いた（複数回答）。最も多かったのは「自分の都合の良い時間や曜日に働きたいから」で63.4%、次いで「生活との両立を図りたいから」が34.9%、「興味のある仕事がパートまたはアルバイトでの募集だったから」が26.3%となった。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「すぐに働き始めたかったから」が13.0pt、「一定期間で計画的に働けるから」が10.7pt、「正社員としての職が得られないから」が9.0pt高くなった。すぐに正社員としての仕事が決まらなので、取り急ぎある程度の期間勤められる仕事を探している、という人が一定数いることがうかがえる。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「扶養の範囲内で働きたいから」が24.3pt、「自分の都合のよい時間や曜日に働きたいから」が18.6pt、「興味のある仕事がパートまたアルバイトでの募集だったから」が8.1pt高くなった。扶養の範囲内での就労を望む声は、特に男性との差があり、大きな特徴となっている。

パートまたはアルバイトを希望する理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



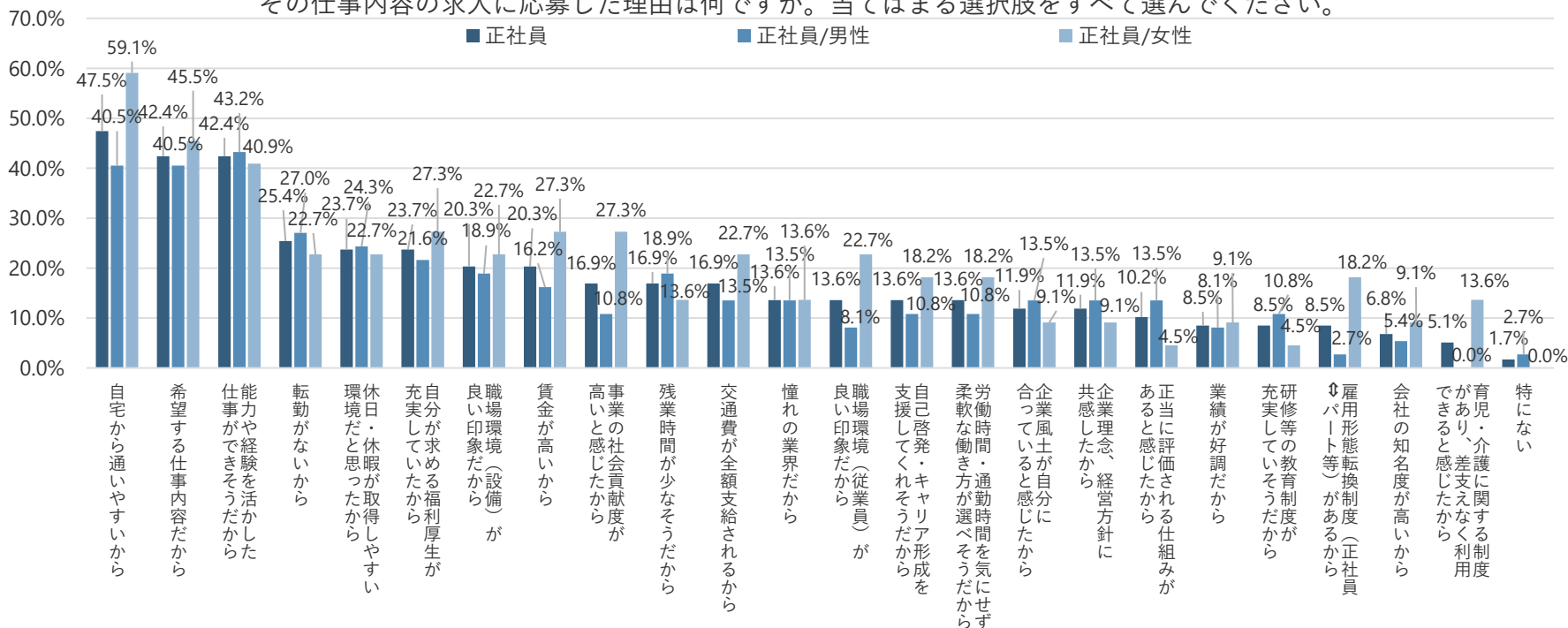
求人に応募した理由（正社員希望の場合）

イーアイデムに掲載された求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。最も多かったのは「自宅から通いやすいから」の47.5%、次いで「希望する仕事内容だから」と「能力や経験を活かした仕事ができるから」が42.4%となった。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「正當に評価される仕組みがあると感じたから」が9.0pt、「研修等の教育制度が充実していそうだから」が6.3pt、「残業時間が少なそうだから」が5.3pt高くなった。評価制度や教育制度を気にして応募をする人が女性よりも多いようだ。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「自宅から通いやすいから」が18.6pt、「事業の社会貢献度が高いと感じたから」が16.5pt、「雇用形態転換制度（正社員⇄パート等）があるから」が15.5pt高くなった。このほかにも「職場環境（従業員）が良い印象だから」「育児・介護に関する制度があり、差支えなく利用できると感じたから」といった項目も男性より支持されていて、多くのこだわりを持ちながら仕事探しを進めていることが伺える。

その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



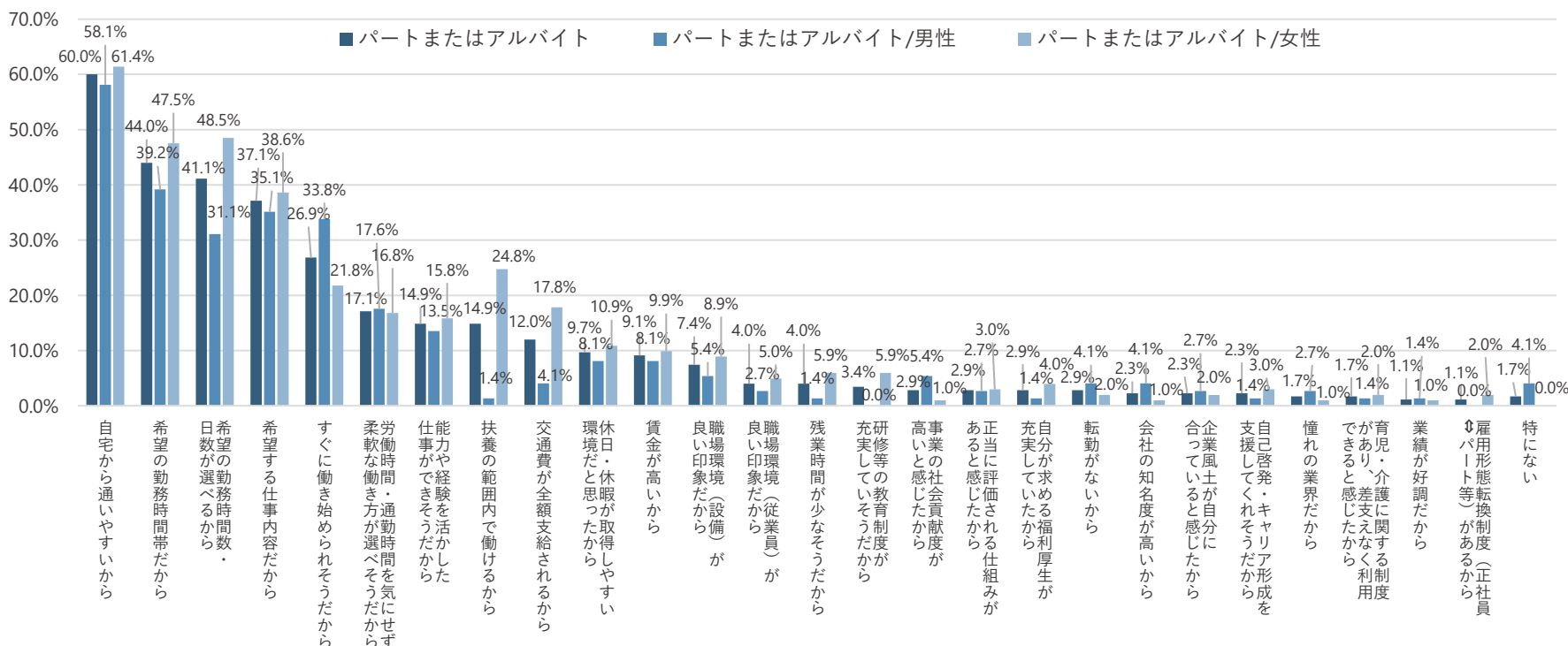
求人に応募した理由（パート・アルバイト希望の場合）

イーアイデムに掲載された求人に応募した、パートまたはアルバイト雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。最も多かったのは「自宅から通いやすいから」で60.0%、次いで「希望の勤務時間帯だから」が44.0%、「希望の勤務時間数・日数が選べるから」が41.1%となった。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「すぐに働き始められそうだから」が12.0pt高くなった。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「扶養の範囲内で働けるから」が23.4pt、「希望の勤務時間数・日数が選べるから」が17.4pt、「交通費が全額支給されるから」が13.7pt高くなった。扶養の範囲内での勤務を希望する割合は、毎月の調査で男性の選択割合を大きく上回っており、大きな特徴となっている。

その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、応募する前に求人企業または求人情報に関する情報収集を行うかきいた（複数回答）。全体では「企業のホームページを探す」が最も多く51.4%、次いで「複数の求人サイトで同じ企業の求人を探す」が28.8%、「口コミサイトで企業名を探す」が21.9%となった。「特に調べず、良いなと思ったらすぐ応募する」は16.3%となり、8割超の人は何らかの方法で事前に情報収集をするようだ。

希望する雇用形態別にみると、正社員では非正規雇用計（パートまたはアルバイト、契約社員または嘱託社員、派遣社員を希望する人の計）と比べると、「企業のホームページを探す」「口コミサイトで企業名を検索する」「普段使うSNSや動画サイトで企業名を検索する」が高かった。「企業に問い合わせしてみる」は3.4%で、直接企業に連絡をする人は少ないようだ。正社員を希望する人は、様々は手法で情報収集しており、応募企業を慎重に検討しているようだ。

年代別にみると、年代が若いほど「普段使うSNSや動画サイトで企業名を検索する」が高く、「複数の求人サイトで同じ企業の求人を探す」が低くなる傾向がみられた。「知人・友人・家族に評判を聞く」は年代による差はほとんどみられず、どの年代も1割前後となった。

求人に応募する前に、求人企業または求人情報に関する情報収集を行いますか。

